

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

743

定時制夜間給食事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	2	社会を生き抜き子供たちの学力の育成
施策	2	国内外の多様な分野で活躍できる人材を育む教育の推進
取組方針	2	高等教育機関の充実と連携強化

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	高等学校費		
	目	学校管理費		
	大事業	高等学校管理事業		
中事業	定時制夜間給食事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	市立和歌山高等学校	竹内 伸之
事業実施の根拠法令			関連課	461-3690		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	定時制課程で学ぶ就職している生徒に健全な発達・食生活の改善に努める。		定時制課程で学ぶ就職している生徒に夜間給食を実施することで、健全な発達・食生活の改善に寄与する。 賄材料費支出		
事業内容	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	就職をしている生徒を対象にパン・牛乳・添加物(ジャム・バター他)を提供する。	就職をしている生徒を対象にパン・牛乳・添加物(ジャム・バター他)を提供する。	就職をしている生徒を対象にパン・牛乳・添加物(ジャム・バター他)を提供する。	就職をしている生徒を対象にパン・牛乳・添加物(ジャム・バター他)を提供する。	就職をしている生徒を対象にパン・牛乳・添加物(ジャム・バター他)を提供する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	359	57	392	39	388	34	237	0	237	0
伸び率(%)	△14.3%	54.1%	9.2%	△31.6%	△1%	△12.8%	△38.9%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,629	1,629	1,635	1,713	1,729	1,336	1,336	0	1,336
	正規職員以外	514	514	500	500	512	512	512	0	512
	小計	2,143	2,143	2,135	2,213	2,241	1,848	1,848	0	1,848
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	119	18	130	10	129	11	78	0	78	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	240	39	262	29	259	23	159	0	159	0
所要人数(人)	正規職員	0.21	0.21	0.21	0.22	0.22	0.17	0.17	0.00	0.17
	正規職員以外	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	0.10
主な予算内訳	定時制生徒捕食給食費388千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
受給者(給食を受けた生徒数)	人	目標値	20	10	10	10	10
		実績値	2	2	2		
		達成度(%)	10%	20%	20%	%	%
提供食率(提供生徒数/必要生徒数)	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		
		達成度(%)	100%	100%	100%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している		横ばい	○ 減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山県が行う定時制課程夜食費補助金補助事業であり、教育の機会均等を保障するために勤労青少年の高等学校の定時制課程への修学を促進した。
見直し・改善内容	和歌山県高等学校定時制課程夜食補助事業実施要綱の改定を働きかける。